

東京中華学校 高一日語総合一学期期末考査		番号	名前
1	メディア・テクノロジーと文化産業の発達に係る心像（イメージ）と人間の関係	①実際に経験していないことを、こうではないかと推し量ること。②現前の知覚に与えられていない物事の心像（イメージ）を心に浮かべること。	
2	産業的に大量生産されたイメージを大量に与えられるような経験。		
3	約二万年前のクロマニヨン人が描いた「ラスコーの壁画」		
4	SNSで画像や動画のイメージを大量に受け取るようになると文章を書く機会が減った。		
5	竹取の翁といふ者		
6	竹取の翁といふ者		
7	三寸ばかりなる人		
8	明け方の様子がおもむきぶかい。		
9	夏の夜の様子がなおさらおもむきぶかい。		
10	夏の夜に降る雨がおもむきぶかい。		
11	帝のご治世		
12	たくさんいた女御や更衣のなかの誰か。		
13	河の流れが滞る場所		
14	水の泡		
15	消えたり現れたりして、ずっと同じであることはないありさまである。		
16	祇園精舎の鐘の声		
17	娑羅双樹の花の色		
18	強い者がいずれは滅びるということが風の前の塵の様子と同じである。		
19	所在なく手持ちぶさたなのにかかせて、一日中、硯に向かって、心に浮かんでは消えていくたわいのないことを、とりとめもなく書きつけていくこと。		
20	なめこときよしを連れて、楽器も携えて、ついでにゲームもたくさんもって、長野県にある行きつけの宿屋に行く。4万円あれば十分に2泊できるはずなので、そこで楽器を吹いたり、ゲームをしたり、お風呂でゆっくりしたり、なめこときよしと自然をめでたりする。		
21			
評価点(合計)			